

# 区医だより

発行●浪速区医師会 編集●広報部

## 巻 頭 言

### 第 二 誕 生 日

松 崎 智 彦

(松崎智彦診療所 院長)

2006年4月から私は和歌山県の串本病院で働いておりました。串本町は自然豊かな所です。私も週末になると海や川へ泳ぎに、あるいはスクーバ・ダイビングに行くという具合に串本ライフを満喫しておりました。

しかし、好事魔多しは世の習い。8月20日、古座川で流れに飲まれ、溺れてしまいました。

一緒に出掛けた友人のYさんとバーベキューをしていた知らないおじさんが川に飛び込んでくれました。しかし流れが急で岸に戻ることが出来ません。正直、「もうダメだ」と、思いました。その時です。対岸の丘の上に住んでいるKさんが手を振りながら「流れに逆らわないで此処へ流されなさい」と、叫んでくれました。そして近くで鮎釣りをしていた人の竿を取り上げ、「これにつかまりなさい」と言って、差し出してくれました。何とか私とその竿を握り締めると、体が岸に引き寄せられ、次の瞬間、足が川底に触れました。「助かった」と、思った途端に全身から力が抜け、私は四つん這いのまま動けなくなりました。

Kさんの家族に抱えられ、草むらまで連れて行ってもらいました。Kさんに背中を押され、何度か水を吐きました。それから救急車に乗せられ、気が付くと串本病院の救急外来で点滴を受けていました。

後日、Kさんに「あそこは今まで何人か人が死んだ場所だね。あんた、助かってよかったよ」と言われ、背筋が凍りました。

Kさんとその家族。飛び込んでくれたYさんと名前を訊けなかったおじさん。釣竿が折れてしまったのに「助かってよかったね」と、私の肩を叩いてくれたTさん。それに救急隊と病院のスタッフの皆さん。そして一番心配を掛けたうちの嫁さん。その他大勢の人たちに「有難うございました」と、何度言っても言い過ぎることはないと思います。

2006年8月20日、私は古座川で一度死にました。そして再び生まれたのです。というわけで、この日を私の第二誕生日に定めた次第です。



## 理事会報告



◎平成22年度9月第1回定例理事会

日 時 平成22年9月10日〈金〉

午後2時～3時30分

場 所 浪速区医師会 会議室

### 協議事項

1. 平成22年度「社会保険指導講習会」の開催について <佐久間会長>  
標記講習会を開催したい。

協議の結果、了承。

日程については、10月27日、11月10日、17日を候補日とし、大阪府医師会と調整することとなった。

2. 本会会員名簿について <佐久間会長>  
平成22年版本会会員名簿の体裁・内容等について協議願いたい。

協議の結果、次のとおり決定した。

- ①一部会員の自宅住所と電話番号を掲載しているが、掲載可否についてのアンケートをとる。
- ②関係団体等の情報は再確認することとする。
- ③最終ページの地図は掲載しないこととする。
- ④業者を選定するにあたり、見積りをとることとする。

3. 大阪府医師会ブロック女性医師支援ワーキンググループのメンバー推薦について <佐久間会長>  
府医より標記メンバーについて推薦方依頼があった。

協議の結果、澤井副会長を推薦するこ

ととなった。

4. 敬老の日(9月20日〈月・祝〉)について <岡藤理事>  
敬老会員への贈呈品を協議願いたい。今年度の敬老会員は20名である。

協議の結果、昨年同様、1人5,000円分の図書カードを贈ることに決定。

5. 今年度レクリエーションについて <岡藤理事>  
プランは資料のとおりであるが、どのプランにするか協議願いたい。

協議の結果、「舞妓さんの踊り鑑賞と昼食」プランとし、日程は11月28日〈日〉に決定。

6. 健康展のテーマと展示用パネルについて <岡藤理事>  
展示用パネルは、メタボリックシンドローム、病診連携、国民皆保険制度を中心に選択することとし、またテーマについては、「メタボリックシンドロームと血管疾患・皆保険・病診連携」にしたい。

協議の結果、了承。

7. その他 なし。

### 報告事項

1. 郡市区等会長協議会について(8月27日〈金〉) <佐久間会長>

次第は次のとおり。

▷開会

▷会長挨拶

▷連絡事項

- (1) 新型インフルエンザに関する件
- (2) 大阪府医師会ブロック女性医師支援ワーキンググループ編成の件
- (3) 「第5回スペシャルオリンピック日本夏季ナショナルゲーム・大阪」競技会場医

- 師派遣の件  
(4) 9月度行事・会合日程の件  
▷協議  
▷開会 (詳細 略)
2. 大阪市新型インフルエンザワクチン接種事業(等)に関する説明会について(8月27日<金>) <佐久間会長>  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷挨拶  
▷説明  
(1)「インフルエンザ様疾患発生報告」の継続等について  
(2)平成22年度新型インフルエンザ予防接種事業について  
大阪市保健所感染症対策担当課長 吉田 英樹  
▷質疑応答  
▷閉会 (詳細 略)
3. 第290回大阪府医師会臨時代議員会について(8月22日<日>) <佐久間会長>  
決定事項は次のとおり。  
▷選挙  
(1)大阪府社会保険診療報酬請求書審査委員会委員の被推薦者選挙  
内科 浅井 晃(東成区)  
(2)大阪府国民健康保険診療報酬審査委員会委員の被推薦者選挙  
内科 坂中 勝(高槻市)  
いずれも候補者が定数どおりであったため、投票を用いず決定。  
▷議事  
第1号議案 審査委員被推薦者選出規程の改正に関し承認を求める件  
第2号議案 平成21年度大阪府医師会一般会計予算の補正に関し承認を求める件  
第3号議案 平成21年度大阪府医師会看護専門学校特別会計予算の補正に関し承認を求める件  
第4号議案 平成21年度大阪府医師会一般会計決算に関し承認を求める件  
第5号議案 平成21年度大阪府医師会看護専門学校特別会計決算に関し承認を求める件  
第6号議案 平成21年度大阪府医師会保健医療センター(予防接種センターを含む)特別会計決算に関し承認を求める件  
第7号議案 平成21年度大阪府救急医療情報センター特別会計決算に関し承認を求める件  
第8号議案 平成21年度大阪府医師会医事紛争特別委員会特別会計決算に関し承認を求める件  
第9号議案 平成21年度大阪府医師会共済事業特別会計決算に関し承認を求める件  
第10号議案 平成21年度大阪府医師会休業補償事業特別会計決算に関し承認を求める件  
第11号議案 平成22年度大阪府医師会事業計画の修正に関し承認を求める件  
▷協議  
(1)当面の医療問題について (詳細 略)
4. 日生病院開放型病院運営委員会・登録医総会について(8月28日<土>) <佐久間会長>  
リーガロイヤルホテルにて開催された。  
議題は次のとおり。  
▷新規登録医申請医師の承認について  
▷病院業績と病診連携実績について  
▷意見交換他 (詳細 略)
5. 浪速区公衆衛生協会総会について(9月1日<水>) <佐久間会長>  
ザ・グランドティアラ大阪にて開催された。  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷来賓紹介・祝辞あいさつ  
▷議案  
第一号議案 役員の改選について  
第二号議案  
(1)平成21年度 事業報告

- (2)平成21年度 収支決算報告  
(3)平成21年度 会計監査報告  
第三号議案  
(1)平成22年度 事業計画(案)  
(2)平成22年度 収支予算(案)  
▷閉会 (詳細 略)
6. 大阪市東部保健医療協議会について  
(9月3日<金>) <佐久間会長>  
ヴィアール大阪にて開催された。  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷議題  
(1)会長、副会長の選出について  
(2)大阪府保健医療計画の進捗状況について(大阪市中心)  
(3)地域医療支援病院の申請について  
(4)消防法改正に伴う「大阪市圏域における傷病者の搬送及び受入れの実施基準に関する基本的な考え方(案)について」  
(5)その他  
▷閉会 (詳細 略)
7. 地域福祉活動ふりかえり会議について  
(8月30日<月>) <有田副会長>  
「浪速区地域福祉アクションプラン」の理念の再確認や実際の行動計画の見直し等を行うため、これまでの取り組みをふりかえり、意見交換を行った。  
(詳細 略)
8. 医療問題研究委員会特別講演会について  
(9月4日<土>) <金田理事>  
シェラトン都ホテル大阪にて開催された。  
次第は次のとおり。  
▷開会  
▷特別講演  
「民主党政権下での医師会活動について」  
大阪府医師会顧問・元日本医師会長  
植松 治雄 先生  
▷意見交換  
▷閉会 (詳細 略)
9. ブルーカード説明会(於:区ネットワーク推進員連絡会)について(9月8日<水>)  
<金田理事>  
久保田理事とともに参加し、ブルーカードについて説明を行った。  
参加者は12名であった。(詳細 略)
10. その他  
(1)会員異動(5月1日～9月6日受付分)  
①入会  
5月1日付 A:土居 敏一  
アシステンツァ桜川診療所  
6月9日付 B:縄田 昌浩 富永病院  
8月24日付 B:高山 敬範 愛染橋病院  
②異動  
6月9日付 B:笹野 衣理  
愛染橋病院 自宅住所異動  
③退会  
6月30日付 B:西川 嘉英 愛染橋病院  
6月30日付 B:川村 真代 富永病院  
7月31日付 B:中村慎一郎  
西日本がん研究機構  
9月1日付 B:谷口万紀子 富永病院
- ◎平成22年度9月第2回定例理事会  
日 時 平成22年9月24日<金>  
午後8時～9時50分  
場 所 浪速区医師会 会議室
- 協議事項  
1. 本会会員名簿掲載内容について  
<佐久間会長>  
掲載内容を確認したい。  
協議の結果、次のとおりとなった。  
①役員名簿と会務分掌をまとめる。  
②近隣病院地域医療連絡室の連絡先に、大阪市立大学附属病院と大阪鉄道病院を追加する。  
③郡市区等医師会の事務所一覧は削除する  
2. 医師とケアマネージャーとの連絡会について  
<橋村理事>



標記連絡会を開催したい。開催内容は次のとおり。

日時 11月27日(土) 午後3時～5時  
場所 浪速区在宅サービスセンター2階

協議の結果、了承。

3. 今年度レクリエーションについて(再)  
＜岡藤理事＞  
前回理事会(9月10日開催)時にて、日時と行き先が決定したが、出席者が少ないようなので、再度、日程と内容について協議願いたい。

協議の結果、次のように変更となった。  
日時 11月20日(土)  
内容 懇親会(ホテルを予定)

4. 予防接種キャンペーン“希望するすべての子どもに予防接種を!”署名活動について  
＜中村理事＞  
日医より府医を通じて、標記署名活動の協力依頼があった。  
この活動は、予防接種で防ぐことができる病気から子どもたちを救うために、予防接種法を改正し、地域間や経済的格差なく、希望するすべての子どもが公費(定期接種)でワクチン接種が受けられる制度を早期に実現させることを目的としている。

協議の結果、了承。

5. その他  
(1) 第35回大阪府医師会社会保険指導者講習会(伝達講習会)の出席者について  
＜佐久間会長＞  
11月20日(土) 午後2時より府医にて開催されるが、府医より4名程度の役員の出席方依頼があった。  
テーマは、①「在宅医療と診療報酬—在宅医療と介護保険制度」、②「厚生労働省関係伝達」である。

協議の結果、佐久間会長、橋村理事、徳田理事、岡藤理事が出席することに決定。

#### 報告事項

1. 郡市区等会長協議会について(9月24日(金))  
＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

- ▷開会  
▷会長挨拶  
▷連絡事項  
(1) 新型インフルエンザ接種事業の件  
(2) 社会保険指導者講習会(伝達講習会)開催の件  
(3) 学校保健指導者講習会の件  
(4) 第18回泉州国際市民マラソン大会開催に伴う医師派遣の件  
(5) 10月度行事・会合日程の件  
▷協議  
▷閉会 (詳細 略)

2. 第1回審査委員選出に関する特別委員会について(9月24日(金))  
＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

- ▷開会  
▷挨拶  
▷報告  
(1) 「審査委員被推薦者選出規程」および「審査委員選出に関する特別委員会規程」について  
▷協議  
(1) ブロック世話人の選出について  
(2) 今後のスケジュールについて  
▷その他  
▷次回日程  
▷閉会

3. 大阪市医師会連合会委員会について(9月13日(月))  
＜佐久間会長＞

次第は次のとおり。

- ▷連絡事項  
(1) 中央急病診療所における地域連携夜間・休日診療料算定の協力依頼に関

- 
- する件
- (2) 大阪市障害者等基礎調査における「高次脳機能障害に関するアンケート」への協力の件
- (3) 大阪市がん検診啓発事業にかかる受診率向上の取り組みの件
- (4) 平成22年度新型インフルエンザ・日脳(2期・1期経過措置)個別予防接種委託料単価の件
- ▷ 報告事項
- (1) 大阪市高齢者施策推進委員会(7月20日)報告の件
- (2) 大阪市地域包括支援センター運営協議会(7月22日、9月8日)報告の件
- (3) 第30回大阪市地域密着型サービス運営協議会(8月26日)報告の件  
(詳細 略)
4. 大阪市内医師会救急医療担当理事連絡協議会について(7月29日〈木〉) <原田理事>  
次第は次のとおり。
- ▷ 開会
- ▷ 挨拶
- ▷ 議事
- (1) 大阪市急病診療 平成21年度診療実績等について
- (2) 平成22年度下半期分中央急病診療所出務医師割当(案)について
- (3) その他
- ▷ 閉会 (詳細 略)
5. 郡市区等医師会救急医療担当理事連絡協議会について(7月29日〈木〉) <原田理事>  
次第は次のとおり。
- ▷ 開会
- ▷ 挨拶
- ▷ 出席者紹介
- ▷ 議事
- (1) 平成21年度大阪府医師会「救急・災害医療対策」事業報告について
- (2) 平成22年度「救急の日」および「救急医療週間」行事実施要綱について
- (3) 平成22年度救急医療研修会の開催について
- (4) 救急告示医療機関の認定基準について
- (5) 平成22年度近畿医師会連合定時委員総会第2分科会報告(5月30日)について
- ▷ その他
- ▷ 閉会 (詳細 略)
6. 第1回救急医療従事者研修会について(9月9日〈木〉) <原田理事>  
次第は次のとおり。
- ▷ 開会
- ▷ 研修会
- 講演1「JATECにみる外傷初期治療—疾病診療との違い—」
- 講師 大阪市立大学大学院 医学研究科 救急生体管理医学教授  
大阪市立大学医学部附属病院 救命救急センター長  
溝端 康光 先生
- 講演2「年間4万件、大阪府小児救急電話相談事業(#8000)の果たす役割」
- 講師 大阪小児科医会理事  
福井 聖子 先生
- ▷ 閉会 (詳細 略)
7. 浪速区子育て支援専門部会事例検討会議について(9月9日〈木〉) <川田理事>  
次第は次のとおり。
- ▷ 部会長あいさつ
- ▷ 西区における幼児死亡事件について
- ▷ 浪速区における状況について
- ▷ その他 (詳細 略)
8. 学校保健協議会全体会について(9月14日〈火〉) <川田理事>  
次第は次のとおり。
- ▷ 開会のことば
- ▷ 会長あいさつ
- ▷ 来賓あいさつ
- ▷ 来賓紹介
-



▷第一部総会

(1)議事

- ①平成21年度事業報告
- ②平成21年度会計報告
- ③平成21年度会計監査報告
- ④平成22年度事業計画(案)
- ⑤平成22年度予算(案)
- ⑥平成22年度役員紹介

(2)閉会のことば

▷第二部研修会

- (1)講演 演題「子どもが育つみちすじ」  
一生きる力の火種を培う―

講師 大阪人間科学大学  
名誉教授・精神科医  
服部 祥子 先生

(2)質疑応答

(3)実践報告 (詳細 略)

9. 浪速糖尿病連携の会について(9月18日  
〈土〉) <徳田理事>

天王寺都ホテルにて開催した。

講演内容は次のとおり。

- ①演題 浪速区における糖尿病連携パ  
スについて

講師 愛染橋病院 内科部長  
橋本久仁彦 先生

- ②特別講演 診療所で基礎インスリン  
をうまく使う

講師 高槻赤十字病院  
糖尿病・内分泌・生活習慣病科  
部長 金子至寿桂 先生

出席者は、会員23名、非会員13名の合計  
36名であった。

10. 救急医療情報交換会について(9月8日〈水〉)  
<久保田理事>

情報交換内容は次のとおり。

- ▷署長挨拶
- ▷出席者紹介
- ▷救急業務の実情
- ▷応急手当普及啓発活動
- ▷救急隊および救急業務に対する要望
- ▷意見交換

▷その他 (詳細 略)

11. 「ブルーカードシステムについて」の説  
明会について(9月13日〈月〉)  
<久保田理事>

次第は次のとおり。

- ▷開会
- ▷会長挨拶
- ▷ブルーカードシステムについて
- ▷ブルーカードを利用して
- ▷質疑応答
- ▷その他

出席者は、25名であった。

(詳細 略)

12. 学術講演会について(9月18日〈土〉)  
<橋本理事>

講演内容は次のとおり。

演題 「先天性QT延長、短縮症候群の臨  
床と心電図」

講師 独立行政法人国立循環器病研究セ  
ンター心臓血管内科  
医長 相原 直彦 先生

出席者数 16名

共催 万有製薬㈱

情報提供 プレミメント配合錠について

13. その他 なし

次回会議 平成22年10月8日〈金〉午後2時～

## 9 月度学術講演会報告

学術担当理事 橋本 久仁彦

日 時 9月18日〈土〉 午後2時

演 題 「先天性QT延長、短縮症候群の臨床  
と心電図」

講 師 国立循環器病研究センター  
心臓血管内科 相原 直彦 先生

出席者数 16名

共 催 万有製薬㈱

情報提供 プレミメント配合錠について

本講演は、相原直彦先生による心電図講義のシリーズである。前回および前々回に引き続きQT延長症候群についてその臨床的重要性について解説された。さらにその裏返しであるQT短縮症候群についても講義された。また、前回会場より提示された心電図について詳細な解説が追加された。

### 1. 心臓の活動電位の説明

常に講義されるポイントだが、心臓の活動電位が理解できないと心電図は解読できない。心臓の活動電位は、急峻なNa流入による第1相、Kが少し流出することによる第2相、ゆるやかなCa流入による第3相、Kの流出による第4相から成り立っている。QT部分を形作る活動電位は、第3相と第4相から成り立つので重要なイオンチャンネルは主にKチャンネルとCaチャンネルである。KチャンネルはIKto、IKs、IKrそしてIK1に分類される。IKtoは一過性に流出する電流であり第2相である。IKsとIKrは第3相に関わっているチャンネルでありIKrが少し早く流出しIKsが遅れて流出する。同時にCaがゆるやかに流入し第3相を形成している。そして、最後に急速に流出するチャンネルがIK1であり第4相である。高K血症の場合はIK1が大きく早くなるため、QTは短縮し高く狭いT波となる。逆に低K血症の場合はIK1が小さく遅くなるため、QTは延長して低く広いT波となる。以上の観点より、先天性QT延長症候群の波形を考えると理解は容易である。

### 2. 先天性QT延長症候群

遺伝子異常としては10個以上知られているが重要なものは以下の3型である。すなわち前述したKチャンネルの異常であるType 1: IKsチャンネルの異常およびType 2: IKrチャンネルの異常と、Type 3: late Naチャンネルの異常である。IKsのsをsport、IKrのrをrestと覚えておくと臨床的特徴を理解しやすい。つまりType 1 (IKs) は運動時 (全体の62%) に発症しやすく、Type 2 (IKr) は夜間安静時 (全体の29%) に驚いた時 (全体の

43%) に発症しやすい特徴がある。しかし、Type 1 でも精神的ストレス時 (全体の26%) に起こりType 2 でも運動時 (13%) に起こる。またType 3 も夜間安静時 (39%) に起こるので発症した状況だけでは断定しがたい。心電図の特徴も重要であり、Type 1 のT波は大きくて幅広く、Type 2 のT波はノッチがあり平低であり、Type 3 のT波は遅れて小さく出現する。しかし、失神発作時の心電図がないと判然としないことは実際の症例の解説からも示された。その場合の判別の方法として、トレッドミルによる運動負荷心電図が有用である。Type 1 では運動負荷の最中はQTの延長が常に認められるのに対し、Type 2 は運動の初期では延長しているが後半には正常に戻る特徴がある。

治療として $\beta$ 遮断薬が有用でありType 1 は81%に有効でありType 2 では59%にType 3 でも50%に有効である。また性差や年齢による効果の差異があり若年男性が最も有効であり若年女性、老年女性、老年男性と効果が弱くなる。

### 3. QT短縮症候群

これまで解説されたQT延長と逆の病態が、QT短縮症候群である。すなわちKチャンネルが亢進した場合とCaチャンネルが減弱した場合に、QTは短縮するのである。先天性の症例は2000年に初めてGussakやGaitaが報告しているが、これまでに世界で55家系しか報告されておらず稀な疾患である。余談として、カンガルーはQT間隔が短いことが知られており突然死が多い。QTc短縮の定義についてはまだ確定的な基準が無く、300msec未満、320msec未満、340msec未満と様々である。治療として、二次予防としてはICD植込みしか無く、一次予防は現時点では有効なものはない。後天的なQT短縮を来す病態は、高K血症、高Ca血症、アシドーシス、ジギタリス中毒、アセチルコリン過剰、カテコラミン過剰、テストステロン過剰などがある。



## 訃 報

本会会員徳地孝一先生が10月9日〈土〉午後11時5分ご逝去されました。享年63才でした。心からご冥福をお祈りいたしますとともに、ここに謹んでお知らせいたします。

## 11月度学術講演会の お知らせ

11月の浪速区医師会講演会の内容は下記のとおりです。  
多数の先生方の参加をお待ちいたします。

日時：平成22年11月20日〈土〉 午後2時～  
場所：浪速区医師会 会議室  
演題：「心房細動の新しい治療方針について」  
講師：独立行政法人 国立循環器病研究センター  
心臓血管内科  
医長 相原 直彦 先生

## 浪速区医師会 活動の伝言板

11月の各業務の出務予定は次のとおりです。  
ご協力のほどよろしくお願いいたします。

## 三 歳 児 健 診

- 保健福祉センター  
11月25日〈木〉 午後1時40分～3時30分  
眼 科 山尾 信吾  
耳鼻科 中村 泰久

## B C G 接 種

- 保健福祉センター  
11月18日〈木〉 午後2時～3時30分  
工藤俊次郎  
北村 栄作

## 大阪市高齢者健康医療相談

- 老人福祉センター 午後2時～4時  
11月2日〈火〉 川合 秀治  
11月5日〈金〉 藤吉 理夫  
11月9日〈火〉 桧山 寛市  
11月12日〈金〉 山尾 信吾  
11月16日〈火〉 徳田 好勇  
11月19日〈金〉 金田 高次  
11月26日〈金〉 有田 繁広  
11月30日〈火〉 本田 秀明

## 急病診療所出務

- 今里急病診療所  
11月3日〈水祝〉 午前10時～午後5時  
中村 淳子  
川田 信哉

## 産業医健康相談窓口

- 浪速区医師会  
11月9日〈火〉 午後2時～午後4時  
北村 栄作

## 特 定 健 診

- 浪速保健福祉センター  
11月14日〈日〉 午前9時15分～午後12時  
川合 秀治  
徳田 好勇

## 浪速区医師会クラブ活動案内

各クラブ活動は下記日程で行っております。  
多数のみなさま方の参加をお待ちしております。  
(ときに時間変更される場合がありますので、各部代表まで連絡をお願いいたします。)

囲 碁 部 毎月第1・3・5(土)  
(川田信) pm 5:00～



## あとがき

H.H.

猛暑のためか、開花が遅かった彼岸花も鮮やかな赤い花を落とし、代わりに葉っぱを付けている。アユも落ちだしたので、10日に納竿会をしてきた。激流の中で、「このまま流されても、竿を持ったまま死ねたら、それも良し」と頭をかすめるのは、淋しく錆びたアユの所為か、更け行く秋の所為か、歳の所為か？

巻頭言士が川で流され、九死に一生を得たとのこと。私も時折、古座川に行くが、増水時のこの川は怖い。30歳代の巻頭言士には溺死は恥、悲しむ人が多すぎる。遅まきながら、8月20日の第2の誕生日おめでとうございます。

10日の納竿の釣りの最中、川の中で患者からの電話が4件あり、5回目の携帯が鳴った。「またか？」と思い電話に出ると「徳地先生が昨夜亡くなられた」との訃報。11日、自宅での通夜に参じた。4月号のこの欄で「徳地先生を励ます会」について触れたが、ついにその日が訪れた。先生は、大腸がんが見つかって、悲しむ間もない程、早急に全ての患者の紹介状をお書きになり、患者に不安を与え

ないようにされ、閉院された。その後、生きている間にしたいこと、すべきことを悔いのないように計画的にされたようです。最後の一週間も、計画的に苦しまないように過ごされたようです。見事な「余生」と私には思えました。

先生が医師会役員会に入られ、私がしていた地域医療担当理事を引き継がれましたが、見事な運営振りで、医師会全体を活気付けられたことは、今でも理事の間で話題になっています。

この1年、浪速区周辺の医療機関でブルーカードによるネットワーク作りが久保田先生を中心に企てられ、成功しています。このネットワークも、徳地先生の遺志が働いているようです。今後、「認知症対策連携ネットワーク」作りへと引き継がれることを願っています。合掌…



目次	ページ
巻頭言	
第二誕生日 松崎 智彦	1
理事会報告（9月開催）	2
9月学術講演会報告 橋本久仁彦	7
11月学術講演会のお知らせ	9
浪速区医師会活動の伝言板	9
あとがき	10

### 【区医だより】

発行者 佐久間靖博

編集者 中村泰久 橋村直隆

印刷所 株式会社 サビ

#### 投稿規定

1. 原稿用紙使用、横書き
2. 原稿枚数：不問(但し分載あり)
3. 締切：5日(厳守)
4. 発行：25日前後